



平成 22 年 4 月 20 日

各 位

会 社 名 株式会社 島 精 機 製 作 所
代 表 者 名 代表取締役社長 島 正 博
(コード番号 6222 東証 1 部・大証 1 部)
(問合せ先) 経理部長 南 木 隆
(TEL 073-471-0511)

業績予想の修正及び特別利益、特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 22 年 1 月 29 日に公表した通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。また平成 22 年 3 月期決算におきまして下記の特別利益及び特別損失を計上することになりましたので、あわせてその概要をお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 3 月期業績予想の修正

(金額単位:百万円)

(1)平成 22 年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	37,000	0	△700	△2,000	△57円84銭
今回修正予想 (B)	36,800	650	150	△1,900	△54円95銭
増減額 (B-A)	△200	650	850	100	—
増減率 (%)	△0.5	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	48,970	8,528	4,814	1,765	49円88銭

(2)平成 22 年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	29,000	1,000	1,000	△1,400	△40円49銭
今回修正予想 (B)	29,500	1,500	1,500	△1,200	△34円70銭
増減額 (B-A)	500	500	500	200	—
増減率 (%)	1.7	50.0	50.0	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	39,486	5,474	1,414	240	6円79銭

(3)修正の理由

①売上高

売上高については、中国市場を中心に第 4 四半期における引合、受注が活発となり、個別業績においては前回予想を上回る見込みとなりました。

②営業利益、経常利益

増産に伴う生産効率の向上により売上原価が低減したことや経費削減効果により、営業利益は前回予想を上回る見込みとなりました。また、連結で 1,240 百万円、個別で 760 百万円の為替差損を計上する見込みですが、経常利益についてもこれを吸収し予想を上回る見込みとなりました。

③当期純利益

当期純利益については「3. 特別損失の計上」に記載の通り連結決算ではのれん償却額等、個別決算では関係会社株式評価損等の特別損失を計上しますが、赤字幅は前回予想を下回る見込みとなりました。

2. 特別利益の計上

平成22年3月期第4四半期会計期間(個別)において、当社の子会社である株式会社ニットマックを吸収合併したことに伴い、抱合せ株式消滅差益1,475百万円を計上します。
 なお、抱合せ株式消滅差益は連結上は消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

3. 特別損失の計上

(1) 個別決算における関係会社株式評価損及び投資有価証券評価損

当社の子会社の純資産及び今後の業績見通しなどを勘案した結果、当該会社に係る関係会社株式評価損を計上するとともに、当社が保有する投資有価証券のうち時価が著しく下落したものについて投資有価証券評価損を計上します。

(A) 平成22年3月期第4四半期会計期間(平成22年1月1日から平成22年3月31日まで)の評価損(=イ-ロ)	
関係会社株式評価損	3,523百万円
投資有価証券評価損	△12百万円
総 額	3,510百万円
(イ) 平成22年3月期(平成21年4月1日から平成22年3月31日)までの評価損	
関係会社株式評価損	3,544百万円
投資有価証券評価損	26百万円
総 額	3,570百万円
(ロ) 直前四半期(平成22年3月期第3四半期)累計期間(平成21年4月1日から平成21年12月31日まで)の評価損	
関係会社株式評価損	21百万円
投資有価証券評価損	38百万円
総 額	59百万円

※四半期における有価証券の評価方法は、洗替え方式を採用しております。

(2) 連結決算におけるのれん償却額及び投資有価証券評価損

個別決算で関係会社株式評価損を計上することに伴い、連結決算において、当該関係会社に係るのれん未償却残高のうち減損分を一時償却し、のれん償却額を特別損失に計上するとともに、当社グループが保有する投資有価証券のうち、時価が著しく下落したものについて投資有価証券評価損を計上します。

(A) 平成22年3月期第4四半期会計期間(平成22年1月1日から平成22年3月31日まで)の評価損等(=イ-ロ)	
のれん償却額	1,517百万円
投資有価証券評価損	△12百万円
総 額	1,505百万円
(イ) 平成22年3月期(平成21年4月1日から平成22年3月31日)までの評価損等	
のれん償却額	1,517百万円
投資有価証券評価損	26百万円
総 額	1,543百万円
(ロ) 直前四半期(平成22年3月期第3四半期)累計期間(平成21年4月1日から平成21年12月31日まで)の評価損等	
のれん償却額	－百万円
投資有価証券評価損	38百万円
総 額	38百万円

※四半期における有価証券の評価方法は、洗替え方式を採用しております。

○純資産額・経常利益額・当期純利益額に対する割合

	個別	連結
(B) 平成 21 年 3 月期末の純資産額	82,677 百万円	91,063 百万円
(A/B × 100)	4.2%	1.7%
(イ/B × 100)	4.3%	1.7%
(C) 平成 21 年 3 月期の経常利益額	1,414 百万円	4,814 百万円
(A/C × 100)	248.1%	31.3%
(イ/C × 100)	252.3%	32.1%
(D) 平成 21 年 3 月期の当期純利益額	※ 3,780 百万円	1,765 百万円
(A/D × 100)	92.9%	85.3%
(イ/D × 100)	94.4%	87.4%

※D) 個別の当期純利益額は、平成 21 年 3 月期が 240 百万円と 10 億円未満のため最近 5 事業年度平均の当期純利益額です。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

以 上